

優良賞

3 番目のお母さん

顾 琴 琴
GU QIN QIN

人はそれぞれ夢を持っています。私の夢は日本へ来ることでした。そして今その夢が実現できて本当にうれしいです。でもそれは日本に来たうれしさではなく、大切なものができたうれしさです。

私は研修生の選抜試験に合格した後、日本の生活に慣れるため、北京の研修センターで5ヶ月位日本語を勉強しました。北京センターの社長は女性です。そして私の2番目のお母さんです。彼女はとても優しい人です。私の苦手な料理や掃除の仕方、そして生活習慣などを色々教えてくれました。それに北京の有名な所へも連れて行ってくれました。北京での生活は本当に楽しく、いい思い出になりました。

日本へ来る前、私の考え方はとても単純でした。ただ正直で真面目に頑張れば、どこへ行っても大丈夫だと思っていました。他のことはあまり深く考えませんでした。

しかし日本に来たばかりの頃は、困難なことがいっぱいありました。すべて日本語力の問題でした。日本語が聞き取れないし、言いたいことが言い表せないのです。毎日毎日不安な気持ちでした。私は段々笑顔がなくなり、言葉も少なくなりました。私はストレスを感じ過ぎて、もう少しでダメになるところでした。

ある日私はストレスに耐えられなくなり、泣き出してしまいました。すぐに社長の奥さ

んが私の所に来て、私を抱きしめてくれました。そして私の涙を拭いてくれました。「顾さんの気持ちは分かります。日本語が分からなくても大丈夫。心がきれいなのが一番ですよ。頑張れば何でもできます」と言って慰めてくれました。

翌日も奥さんは心配して来てくれました。私の真赤な目を見て、奥さんも涙がこぼれそうになりました。でも奥さんは何も言わず私の頭をなでて「大丈夫」と言って慰めてくれました。奥さんは私にたくさん言いたいことがあったと思います。でも私は日本語がわからないので、その時はあまり話してくれませんでした。奥さんが私の涙を拭いてくれる時は、まるでお母さんのようです。そして私は日本にこんな親切なお母さんがいるのか、と夢を見ているように感じました。

今奥さんは、私の3番目のお母さんになりました。仕事や生活のことで悩んだ時は何でも相談しています。今ではお母さんのおかげで、自信を持つことができるようになりました。私はあの時お母さんの言った言葉を一生忘れません。あの言葉はお金では買うことができない愛だと思っています。私は「ありがとうおかあさん」と心から叫びたいです。

区 分	技能実習生
国 籍	中国
職 種	婦人子供服製造
受入れ企業	合資会社ビューアクリーン
受入れ団体	PNJ 事業協同組合